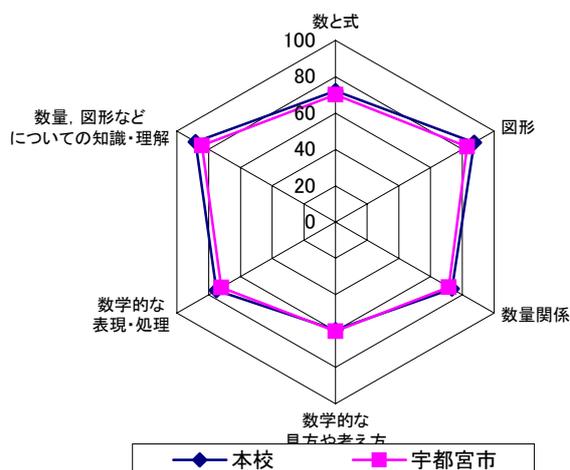


宇都宮市立上河内中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	72.2	70.1
	図形	87.5	82.9
	数量関係	73.4	71.4
観点別	数学的な見方や考え方	59.4	60.1
	数学的な表現・処理	75.0	72.0
	数量、図形などについての知識・理解	88.1	84.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (72.2%)	・市と比較して1.1ポイント上回っている。式の計算や連立方程式の計算については市を上回っているか、同程度であるが、数の性質を文字式を用いて説明する問題に課題がある。	・今後も継続して、計算問題に取り組ませる時間を多くもち、習熟を図りたい。数の性質を文字を用いて説明する問題は生徒が苦手とする傾向にある。3年生になってもまた学習するので、文字を使う必要性について理解させていきたい。
図形 (87.5%)	・市と比較して4.6ポイント上回っている。どの問題も正答率が高い。平行線と角の性質を用いて角度を求める問題は正答率100%である。直角三角形の合同の問題や、平行四辺形の性質を用いた三角形の合同の証明がやや不十分である。	・基本的なことは理解できている生徒が多いので、更にそれをもとに証明の力を高めるような指導をしていきたい。理解が不十分な生徒に対しては、三角形の合同の意味、合同条件の意味、その使い方、それを使った証明のしかたを、理解できるようにさせたい。
数量関係 (73.4%)	・市と比較して2ポイント上回っている。1次関数の意味や変数の関係を式に表したり、グラフと式の間をとらえることは身につけている生徒が多いが、時間と距離の関係を表したグラフから速さや時間を読み取る問題については不十分である。	・変数の間の関係を表や式、グラフに表すこと、さらに表、式、グラフの関係をしっかり理解させていきたい。またそれを具体的な場面に利用して考察できるような力を身につけさせたい。